

地区防災計画学会第11回大会

3.1

オンライン開催

地区防災計画学会の第11回大会では、二つの特徴のあるシンポジウムを開催します。一つは、内閣府及び防災推進協議会と連携して、2024年の能登半島地震、南海トラフ地震臨時情報発令等を受けた最近の共助の防災活動の動きを踏まえ、企業とコミュニティの防災活動について議論を行います。もう一つは、2025年が、阪神・淡路大震災から30年にあたることから、阪神・淡路大震災30年を受けた地区防災計画づくりの在り方について議論を行います。この他、大学教員等による個人報告が48本予定されています。

能登半島地震、南海トラフ地震臨時情報発令等を受けた地区防災計画づくり、阪神・淡路大震災30年を受けた地区防災計画づくり



室崎益輝名誉会長



矢守克也会長



加藤孝明副会長

シンポジウム①【内閣府・防災推進協議会・地区防災計画学会連携】

「企業とコミュニティの防災活動—能登半島地震、南海トラフ地震臨時情報発令等を受けた最近の共助の防災活動の動きを踏まえて—」

- | | | |
|---------|-------|----------------------------------|
| ・挨拶 | 後藤隆昭 | 内閣府防災担当参事官 |
| ・モデレーター | 加藤孝明 | 東京大学教授（地区防災計画学会副会長） |
| ・登壇者 | 磯打千雅子 | 事業継続推進機構
（香川大学准教授・地区防災計画学会理事） |
| | 流 友之 | 日本損害保険協会業務企画部長 |
| | 坂 克人 | 日本建設業連合会常務執行役 |
| | 山崎勝也 | 全国共済農業協同組合連合会全国本部調査役 |
| ・総司会 | 守 茂昭 | 都市防災研究所理事・上席研究員
（地区防災計画学会理事） |

シンポジウム②「阪神・淡路大震災30年を受けた地区防災計画づくりの在り方」

- | | | |
|---------|--------|------------------------|
| ・モデレーター | 矢守克也 | 京都大学教授（地区防災計画学会会長） |
| ・登壇者 | 室崎益輝 | 神戸大学名誉教授（地区防災計画学会名誉会長） |
| | 近藤誠司 | 関西大学社会安全学部教授 |
| | 大牟田智佐子 | 毎日放送報道情報局報道業務部次長 |
| | 山崎栄一 | 関西大学社会安全学部教授 |
| ・総司会 | 坊農豊彦 | 大阪公立大学客員研究員 |

- | | |
|----|--|
| 日時 | 2025年3月1日（土）9：00～17：15（予定） |
| 場所 | オンライン開催（YouTubeによる同時配信） |
| 主催 | 地区防災計画学会 |
| 共催 | 情報通信学会災害情報法研究会 |
| 協力 | 内閣府・防災推進協議会 |
| 後援 | Yahoo!基金 |
| 対象 | 地域防災力の強化や地区防災計画づくりに興味のある方
参加費無料・事前申込制（詳細は地区防災計画学会HP参照）
https://gakkai.chiku-bousai.jp/ev240727.html |



みんなで作る地区防災計画
地区防災計画学会

地区防災計画制度及び 地区防災計画学会について

●東日本大震災の教訓を踏まえて災害対策基本法が改正され 地区防災計画制度が創設

2011年の東日本大震災では、公助の限界が明らかになり、地域コミュニティにおける共助による防災活動の重要性が認識されました。この教訓を踏まえ、2013年6月に災害対策基本法が改正され、地域コミュニティにおける住民や事業者の共助による防災活動に関する「地区防災計画制度」が法制化されました。

●地区防災計画学会の概要

「地区防災計画ガイドライン」は、学識経験者、行政関係者、企業等の多くの関係者の協力を得て作成され、その過程では、「地区防災計画制度」を普及させていくに当たり、ノウハウの交換や先進事例について理解を深めるような場がほしいという要望が寄せられました。そこで、地区防災計画制度に係る普及啓発、調査研究等を行い、地域防災力の向上や地域コミュニティ活性化、まちづくり等に資することを目的として、産学官民のメンバーによって、2014年6月に「地区防災計画学会」が創設されました。

そして、2014～2024年度の10年間に、約50回のシンポジウム等を開催し、のべ1万人以上の方に御参加いただきました。また、地区防災計画学会誌を10年間で30号以上発行しており、ここ1年間だけでも約50本の論文、予稿等を掲載しています。



室崎益輝
地区防災計画学会名誉会長
(神戸大学名誉教授)

●正会員と連携会員（サポーター）募集

一般的に、学術研究団体は、大学教員を中心とした正会員で構成されており、入会にも会員の推薦が必要です。そのため、大学教員以外は、参加することが難しいのですが、地区防災計画学会では、現場で活躍されている公務員、コンサルタント、防災士、自治会・町内会等の意識の高い方々にも御参加をいただけるように、サポーター（正式名：連携会員）を募集しています。サポーター（連携会員）の申請に当たって、推薦人は不要で、正会員よりも気軽に便利に活動することができるのが特徴です。

サポーター（連携会員）として想定される方は、当学会の活動に賛成し、コミュニティ防災に関するノウハウを吸収して自己のレベルアップを図りつつ、学会の活動を支援したいという意識の高い方で、アカデミックな「会員」になるには敷居が高いと感じている方です。

地区防災計画学会 入会・問合せ

<https://gakkai.chiku-bousai.jp/contact.html>

<https://note.com/chikubousai/n/n399c93f6a411>



note
「地区防災計画チャンネル」

連絡先 地区防災計画学会事務局

540-6305 大阪市中央区城見1-3-7 松下IMPビル5階

一般財団法人関西情報センター気付

MAIL: info@gakkai.chiku-bousai.jp



みんなで作る地区防災計画

地区防災計画学会